

西山山麓火口散策路整備 町建設協会会員らボランティア

観光シーズンを迎え、洞爺湖町建設協会（北島良人会長）が主催して4月25日、西山山麓火口散策路の整備活動を行いました。参加したのは、同協会会員と町職員ら合わせて42人。訪れた観光客が、安全に楽しく散策できるようにとこの時期同協会が毎年実施しているボランティア活動です。

今回は、枕木14本の交換のほか、老朽化したロープの張り替え40本に、120カ所で枕木のモルタル埋めが行われました。参加した会員らは「少しでも気持ちよく歩けるように」と願いながら、散策路整備に汗を流しました。



西山山麓火口散策路整備に汗を流す会員たち

「MOVE 洞爺湖2017」

（洞爺湖温泉観光協会など主催）が、4月29日、洞爺湖温泉で開か

れ、住民や全道各地から約230人が参加して、湖畔などの花壇整備に汗を流しました。

2000年有珠山噴火後の洞爺湖清掃作業がきっかけとなって、北海道のラジオ局AIR-Gとの連携で始まったボランティア活動です。

参加者は、温泉街や湖畔の遊歩道、噴火記念公園などに分かれて、パンジーやビオラ、アリッサムなど合計約11,000株を植栽しました。

洞爺湖畔で花壇整備 全道からボランティア230人参加



家族で花壇整備を楽しむ参加者たち

5月1日に運行を始めたJR東日本の豪華寝台列車「トランススイート四季島」



乗客に月浦ワインを手渡す真屋町長

の歓迎イベントが、5月3日、JR洞爺駅で行われ、多くの町民や鉄道ファン約300人が駆けつけ、小旗や拍手で見送りました。

乗客各組に月浦ワインを提供。ニセコ町で1泊し洞爺駅で乗り込む10組(20人)には真屋町長が1本ずつ直接手渡しました。虻田中学校吹奏楽部による演奏も披露され、イベントを盛り上げました。

車両を一目見ようと訪れた子どもたちは、「大きくてかっこよかった」と車両の迫力に感激していました。

洞爺湖町へようこそ 洞爺駅で四季島歓迎イベント

春の様々な野草を観察 春を楽しむ会

多彩な植物や野鳥の観察ができる月浦森林自然公園の魅力を知ろうと「いきいき教室春を楽しむ会」（いきいき教室/NPO法人森・水・人ネット主催）が、5月12日同公園で、町民や同ネット会員ら34名が参加して行われました。

当日は、同ネット代表の木村益巳さんを含む会員5名の案内で、シラネアオイやエゾエンゴサクなどの多数の野花を観察。木村代表は、「周辺の森林公園の中では、野草の種類が多くピカイチに素晴らしい。四季折々の変化が見られるこの公園の魅力をもっと知ってもらいたい」と同公園の自然を絶賛していました。



木村代表から説明を受ける参加者

まちのわだい

